

飛騨市介護サービス事業資質向上事業活動報告書

【事業所名】 旭ヶ丘デイサービスセンターたんぽぽ苑
【事業名】 さるぼぼ作りの内職レク
【事業実施場所】 旭ヶ丘デイサービスセンターたんぽぽ苑デイフロア
【事業概要・実績】 お土産品のさるぼぼの制作（胴体パーツへの綿詰め作業） ・内職の受注先：有限会社オリジナル 高山市上岡本町3-376 手芸を趣味とすご利用者さんに作業を行っていただき、1月あたり200個～300個を制作。内職の報酬は午後のお茶菓子に変えてご利用者へ全額還元する。
【事業目的】 飛騨地域への観光客の増加により飛騨のお土産としても有名なさるぼぼが不足していることから、デイ利用者にさるぼぼ制作の一役を担っていただき、地域を支える一員としてのやりがいを感じて頂く。
【事業効果・成果】 内職レクの開始当初はやり方が解らず、デイのご利用者実人数約100名のうち、3～4人しか取り組めなかったが、開始4か月ほど経過した現在は25～28人ほどのご利用者が内職レクとしてさるぼぼの綿詰め作業をしてくださるようになった。また当初は女性のご利用者だけが取り組まれていたが、現在は男性のご利用者数名も取り組まれるようになった。ベテランのご利用者がまだ慣れてみえないご利用者にやり方やコツをレクチャーされる姿もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で作業を行っていただけるようになった。詰める綿の重量を図る作業や、手足の先まで斑なく綿を詰める作業を行っていただくことで、指先の機能訓練や認知症予防にもなっていると考えます。報酬としてはまだ法人口座に支払われた額が少額であり、お茶菓子の提供には結びついていないが、今後全額をお茶菓子に変えてご利用者に提供し、達成感を肌で感じて頂く予定である。
【その他】 内職レクを行うために購入した物品 ・縫い針セット：1セット（綿詰め後の胴体パーツを糸で縫って締めるために使用） ・糸切狭：3本（綿詰め後の胴体パーツを締める糸を切るために使用） ・クッキングスケール：4個（詰める綿の重さを正確に計るために使用） ・もちネバ式耳かき：1パック（胴体生地を裏表ひっくり返す際に使用） ・スクエアボックス：4個（工程ごとに製品を保管するために使用）対象

【写真など】

